

平成24年度 一般会計 予算見積 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	5. 考古及び民俗資料整理事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	2. 文化財保護費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
経常	補助		7,437	△326	0		平成24年度	0
							平成25年度	0
							平成26年度	0
							平成27年度	0
							平成28年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	313	7,111
本年度当初査定額		

財源内訳	国庫支出金	県支出金						一般財源
本年度当初要求額	250	63						6,798
本年度当初査定額								

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 文化財収蔵庫に収蔵されている考古・民俗資料の整理を行う。考古・民俗資料の分類整理及び図面・写真の収納整理、埋蔵文化財の修復を前年度に引き続いて実施する。考古資料の保存処理に国庫・県費補助を導入する。</p>	<p>(事業の目的) 考古・民俗資料は、市内外の教育機関・研究者からの問い合わせや貸出依頼、市内小学校での総合学習での活用例が多数ある。そのような要望に適切に回答し、迅速に対応するため、資料の整理・修復を行う。また、市内各施設における資料の貸出展示等依頼にも積極的に応じる。特に国庫補助事業関連の出土品の台帳化を進める。平井家住宅の維持管理を進め、その活用を検討する。</p>	<p>(事業の効果) 市民の財産である文化財をより良好な状態で保管し、必要に応じて活用できる状態にする。学校教育・公民館等でそれらを活用することによって、市民が地域の歴史・文化に親しみやすくなる。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 今後、過去の大規模調査の資料が移管されることが見込まれ、今後も民間事業に伴う埋蔵文化財調査も計画されている。このことから、文化財収蔵庫の収納余地に不足が生じることが予想される。また、収蔵庫は仮設施設であり、老朽化が進んでいる。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 予算状況が厳しいため、実施を急がれない部分について減額をした。</p>	<p>(見積についての特記事項) 文化財収蔵庫の資料収蔵の改善をはかるため、物品棚を庁用器具費として計上した。</p>

節	本年度 当初要求額	前年度 当初予算額	増減額
07	4,663	4,663	0
11	998	999	△1
12	265	267	△2
13	1,052	1,262	△210
14	13	13	0
18	120	233	△113

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
		14	02	04	04	01	00	国宝重要文化財等(市内遺跡発掘調査)保存整備費	250		250
	15	02	07	03	01	00	文化財保存事業(埋蔵文化財緊急調査)補助金	63		63	0
差引一般財源								6,798		7,124	△326